く戦時中から政府の統制と財閥の存立保護に依る不当なる利潤
に刺激せられて健全に膨張した日本の化学工業界は今や其
の当然の帰結として不景気に陥入った。戦後の好況時代に好景
気の利益を収めたものは決して労働者ではなくて財閥である。資本
家であった。然るに一たび戦後の不況に入ると仕事は不景気の
損失は悉くことごとく労働者に負担せしめている。
既に作業の為に工場を閉鎖され、作業のためには仕事の工場を
なくされた失業者の数は日毎に加はっている。作業に必要なる人員として
ゐる者を絶へず失業の不安におびやかされしつゝあるばかりでなく其の
賃金は或は停職し或は三分の一となって事実上の半失業となって
いる。

然るに生活必需品の価格は之れに伴って低落しない。

四割くらい以上の値上、政府の統制では価額の引下と労働条件の改悪
に依って生産費を切り抜け之に従って(即ち徹頭徹尾労働者
の負担に依って)経営の困難に招いた今日の苦境から自らの頭を救
はんとしている。資本家階級は今や一方に相呼応して所謂
合理化の名の下に積極的に利用し隠密なる手段を講じて
全ての労働者を圧迫する事に全力を挙げている。故に於て労働者の生活は
日々に低下し労働条件は刻々に改悪せられ殆ど労働者の生活
は半ば飢餓の状態に迄押し詰められている。労働階級の一致
団結して以外に自らの勢力に依り企業の圧迫に対して労働者の

こゝに於て[illegible]次の如く近年の[illegible]
特に我が神戸市は阪神に於ける化学工業中の[illegible]
にあって日本に於て代表的な地位を占め其の有数の大工場を含んで
いる。従って[illegible]階級に対する作業の圧迫と隷属の強制は常に全
資本家階級の共同戦線の下に最も計画的に行はれている。

二、化学工業労働者の組織率

此の点に就いて化学工業労働者は全国的に見て又神戸市内のみに就いて
見るも殆んど其の組織の状態にあるを痛歎せざるを得ない。日本に
於ける組織労働者中化学工業労働者は僅かに六千二百人にして
其の総数十七万余人に対して僅々三分四厘の低位に在る。
総ての労働者の組織労働者九万二千人で総数三十二万人に対する
二割八分の比率にあるを見る時、化学工業労働者の如何に劣悪なる
労働条件は実に此の無組織状態に因せざるを得ない。
ことを神戸に於けるゴム労働者の組織を見るに、男工一千五百六十九人
女工二千八百四十人合計五千四百〇九人にして其の中組織労働者
男女工を合せて九百九十六人で其の組織率は総数に比して一割
八分四厘の高率を示すは其の大部分は労働者の団結の自由
を剥奪せる極反動的大企業ダンロップゴム工業株式会社の従業員
であって、実に之等の工業に至っては男工一千の七十五人、女工四千二百四十九人